

2009 年 4 月 20 日

世界最大の放送機器展 NAB ショーで公開

## MOS撮像性能を大幅向上する「フラッシュバンド補正技術」を開発

AG-HPX305 にはファームウェアアップデートで搭載予定

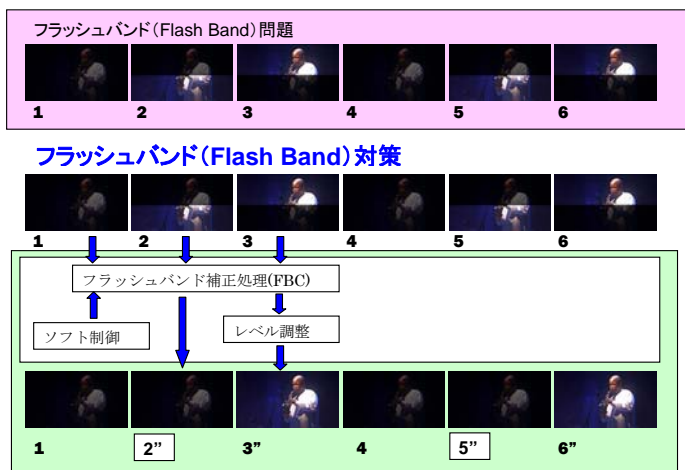
パナソニック株式会社は、MOS撮像性能を大幅向上する「フラッシュバンド補正技術」を開発しました。本技術は、220 万画素MOSセンサーを搭載し 10bit 4:2:2 の高画質 HD 収録が可能な業務用「P2HD」カメラレコーダー「AG-HPX305」に無償ダウンロードによるファームウェアアップデートで搭載される予定です。

MOSセンサーでは画素のライン毎に順次露光スタートし、順次読み出しを行います。(ローリングシャッター)

これによりMOSセンサー消費電力を低く抑えられ、高速の駆動が可能になっています。ただし画面の上部から下部にかけてライン毎に露光タイミングが少しずつ異なってくる為、フラッシュが焚かれた時に明るさが上下で分割されたような画面が見えたりする症状「フラッシュバンド」が現れます。



「AG-HPX305」の新開発カメラ信号処理 LSI に搭載した、高精度フラッシュバンド検出処理のフラグ信号に基づき、フラッシュバンドの画面及びその前画面の信号を用いて補正する「フラッシュバンド補正(FBC)」の処理アルゴリズムを開発。フラッシュバンドが現れたペアのフレームを加え合わせる処理を行い、一枚の画面全体にフラッシュが当たった画像を作成し、レベルを適正に調整することで、グローバルシャッターと同じような明るい画面を実現しました。これにより、ローリングシャッター特有のフラッシュバンドによる不自然さがなくなります。



なお、本機能を含む AG-HPX305 アップグレード用ファームウェアは、当社の放送・業務用映像機器ウェブサイト (<http://panasonic.biz/sav/>) において本年夏ごろダウンロード可能になる予定です。